

令和6年産雑豆の作付面積

(公財)日本豆類協会

農林水産省大臣官房統計部では、令和6年10月30日付けで「令和6年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積」を公表しました。ここではその調査結果から雑豆に関する部分を抜粋して紹介します。

1. 小豆（乾燥子実）の作付面積

小豆の作付面積は2万3,900haで、前年産に比べ900ha（4%）減少した。

主産地である北海道の作付面積は2万800ha（全国の約9割）で、前年産並みとなった。

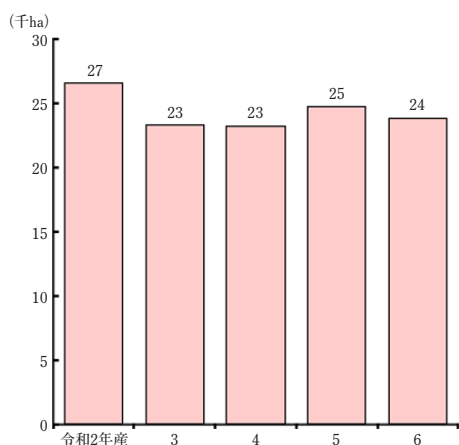


図1 小豆の作付面積の推移(全国)

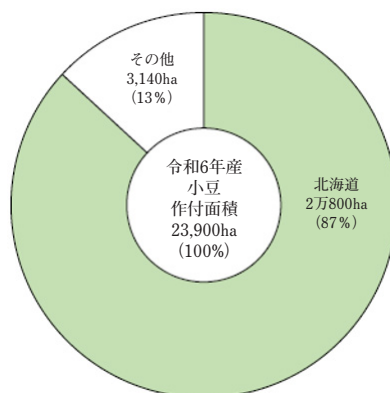


図2 小豆の都道府県別作付面積及び割合

2. いんげん（乾燥子実）の作付面積

いんげんの作付面積は5,710haで、前年産に比べ160ha（3%）減少した。

主産地である北海道の作付面積は5,330ha（全国の約9割）で、120ha（2%）減少した。これは、他作物への転換等があったためである。

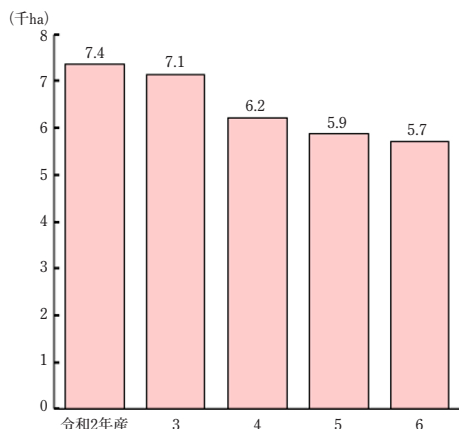


図3 いんげんの作付面積の推移(全国)

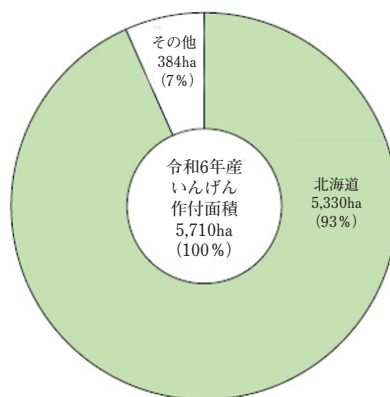


図4 いんげんの都道府県別作付面積及び割合

(参考)

表1 令和6年産小豆(乾燥子実)の作付面積

全国農業地域 都道府県	計			田			畑		
	作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較	
		対差(ha)	対比(%)		対差(ha)	対比(%)		対差(ha)	対比(%)
全国農業地域 都道府県	23,900	△900	96	2,960	△600	83	21,000	△200	99
北海道	20,800	△100	100	1,440	△110	93	19,400	100	101
岩手	154	nc	nc	19	nc	nc	135	nc	nc
石川	132	nc	nc	61	nc	nc	71	nc	nc
京都	382	△33	92	365	△33	92	17	0	100
兵庫	506	nc	nc	478	nc	nc	28	nc	nc
島根	133	nc	nc	46	nc	nc	87	nc	nc
岡山	180	nc	nc	113	nc	nc	67	nc	nc

注：令和6年産調査については、全国調査を実施した。なお、3年周期で全国調査を実施しており、全国調査年以外の年については、主産県調査を実施している。

表2 令和6年産いんげん(乾燥子実)の作付面積

全国・主産県	計			田			畑		
	作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較		作付面積 (ha)	前年産との比較	
		対差(ha)	対比(%)		対差(ha)	対比(%)		対差(ha)	対比(%)
全国	5,710	△160	97	289	22	108	5,420	△180	97
うち北海道	5,330	△120	98	255	25	111	5,070	△150	97
うち金時	3,750	△180	95	…	…	nc	…	…	nc
手亡	1,300	30	102	…	…	nc	…	…	nc

注：「金時」、「手亡」とはいんげんの種類を示す。なお、「金時」には「きたロツツ」を含んでいない。